

# 事業費10億円以上増額地区一覧表

## 資料4

(令和5年度公共事業再評価における一次政策評価の実施方針に基づく報告)

(様式4)

上段：前回評価（又は事業採択時）

下段：今回評価（令和5年6月30日現在）

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外の 変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
1	農政部 農地整備事業 (経営体育成型)	用水路 L=23,767m 排水路 L=3,237m 区画整理 A=283ha(整地、暗渠 排水、客土)	3,300		1,073 (32.5%)	H30 (2018)	H38 (2026)	H28 (2016)	○				○	○			○	○	
	北竜南1 (北竜町、雨竜町)	用水路 L=23,767m 排水路 L=3,237m 区画整理 A=286ha(整地、暗渠 排水、客土)	4,439	1,139 (35%)	1,443 (32.5%)	H30 (2018)	R8 (2026)	主な変更 理由・内容	・資材及び労務単価、消費税等の上昇(増額：711百万円) ・詳細測量の結果新たに必要が生じた確定測量及び買収費の追加(増額： 135百万円) ・農地流動化により取得した農地の一体的な整備の追加(増額：23百万円)										
2	農政部 農地整備事業 (経営体育成型)	用水路 L=14,832m 排水路 L=85m 区画整理 A=47ha(整地、暗渠 排水、用水路、排水路、耕作 道)	2,470		803 (32.5%)	H31 (2019)	H39 (2027)	H29 (2017)	○		○		○	○			○	○	
	二股第2南 (羽幌町)	用水路 L=14,219m 排水路 L=335m 区画整理 A=65ha(整地、暗渠 排水、用水路、排水路、耕作 道)	3,564	1,094 (44%)	1,158 (32.5%)	R1 (2019)	R9 (2027)	主な変更 理由・内容	・資材及び労務単価、消費税等の上昇(増額：492百万円) ・軟弱地盤対策のため基礎処理工の追加(増額：248百万円) ・農地流動化により取得した農地の一体的な整備の追加(増額：187百万円) ・現地測量精査による排水路の事業量及び事業費の増(増額：73百万円)										

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
3	水産林務部	(音標地区) 東防波堤 L=50.0m 北護岸(改良) L=156.0m 第2北護岸 L=240.0m 東護岸(改良) L=105.0m 泊地一式、岸壁一式 船揚場一式 ほか (乙忠部地区) 東防波堤(改良) L=110.0m 北防波堤(改良) L=120.0m 北護岸(改良) L=200.0m 南護岸 L=144.0m 航路一式、泊地一式 岸壁一式、船揚場一式 ほか (山白地区) 外防波堤 L=50.0m 新北護岸 L=50.0m、 新北護岸(改良) L=50.0m 突堤 L=40.0m 航路一式、泊地一式 岸壁一式、船揚場一式 ほか (徳志別地区) 外防波堤 L=60.0m 北防波堤(改良) L=100m 北護岸(改良) L=117m (岡島地区) 外防波堤 L=30.0m 北防波堤(改良) L=24.0m 北護岸(改良) L=23.0m ほか	9,410		2,730 (29%)		H30 (2018)	H39 (2027)	H28 (2016)	○	○						○		
	水産基盤整備事業費 枝幸南部 (枝幸町)	(音標地区) 東防波堤 L=180.0m、 北護岸(改良) L=156.0m 第2北護岸 L=240.0m 東護岸(改良) L=105.0m 泊地一式、岸壁一式 船揚場一式 ほか (乙忠部地区) 東防波堤(改良) L=110.0m、 北防波堤(改良) L=120.0m、 北護岸(改良) L=200.0m 南護岸 L=144.0m 航路一式、泊地一式 岸壁一式、船揚場一式 荷さばき施設一式 ほか (山白地区) 外防波堤 L=50.0m 新北護岸 L=50.0m、 新北護岸(改良) L=50.0m 突堤 L=40.0m 航路一式、泊地一式 岸壁一式、船揚場一式 ほか (徳志別地区) 外防波堤 L=60.0m (岡島地区) 外防波堤 L=30.0m、 北防波堤(改良) L=24.0m、 北護岸(改良) L=23.0m、 用地一式	13,694	4,284 (46%)	3,930 (29%)	H30 (2018)		R9 (2027)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝幸漁協主体事業の「荷さばき施設」を計画変更で追加(増額:1,200百万円)</li> <li>・現地水中地盤調査の結果による防波堤断面の増大・消波ブロック規格の変更(増額:2,090百万円)</li> <li>・資材及び労務単価の上昇(増額:994百万円)</li> </ul>									

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計 の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計 等の 基準 改定	自然増		その他
4	水産林務部	西防波堤(補修) L=780.0m 南防波堤(改良) L=110.0m 西護岸(補修) L=171.6m -3.0m泊地(補修) A=9,900m2 -3.5m泊地(補修) A=32,200m2 -3.5m岸壁(改良) L=153.6m -2.0m物揚場(補修) L=274.0m 船揚場(補修) L=117.5m 道路 L=166.0m 道路(補修) L=1,838.0m 用地(改良) A=4,500m2	5,900		1,705 (29%)	H30 (2018)	H39 (2027)	H28 (2016)	○	○	○						○		
	水産基盤整備事業費 新尾岱沼 (別海町)	西防波堤(補修) L=780.0m 南防波堤(改良) L=110.0m 西護岸(補修) L=171.6m -3.0m泊地(補修) A=9,900m2 -3.5m泊地(補修) A=32,200m2 -3.5m岸壁(改良) L=153.6m -2.0m物揚場(補修) L=274.0m 船揚場(補修) L=117.5m 道路 L=166.0m 道路(補修) L=1,838.0m 用地(改良) A=4,500m2	7,000	1,100 (19%)	2,042 (29%)	H30 (2018)	R9 (2027)	主な変更 理由・内容	・現地水中地質調査の結果による汚泥・泥土量の増に伴う浚渫費・固化処理費用の増大(増額:694百万円) ・資材及び労務単価の上昇(増額:406百万円)										
5	水産林務部	胸壁 L=1,247m 陸間 L=103m(12基) 階段 N=5基	2,424		1,091 (45%)	H30 (2018)	H39 (2027)	H28 (2016)	○	○	○						○		
	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業) 尾岱沼 (別海町)	胸壁 L=1,230m 陸間 L=123m(13基) 階段 N=2基	4,303	1,879 (78%)	1,480 (34%)	H30 (2018)	R9 (2027)	主な変更 理由・内容	・漁業活動等との調整による陸間基数増、陸間形式等の変更(増額:1,038百万円) ・地盤条件等の変更に伴う施工内容の変更(増額:585百万円) ・資材及び労務単価の上昇(増額:256百万円)										

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
6	建設部 道路改築事業費 (特定道路事業交付金)	延長 L=7.8km 道路工 L=5.5km 橋梁工 N=9橋 トンネル工 L=758m 地すべり対策工 N=6箇所	13,100		2,620	H22 (2010)	R7 (2025)	R1 (2019)	○		○	○	○		○	○			
	名寄遠別線 (遠別町)	延長 L=7.8km 道路工 L=5.5km 橋梁工 N=4橋 トンネル工 L=758m 地すべり対策工 N=9箇所	15,030	1,930 (15%)	3,006	H22 (2010)	R7 (2025)	主な変更 理由・内容										・工事用道路の新たな延伸(増額:155百万円) ・橋梁からカルバートへ変更(減額:-604百万円) ・資材搬送車の変更(増額:110百万円) ・トンネル掘削補助工法の採用(増額:300百万円) ・トンネル支保パターンの変更(増額:175百万円) ・輸送トラックの確保(増額:250百万円) ・地すべり対策の拡大(増額:875百万円) ・通信設備の整備(増額:320百万円) ・調査ならびに対策設計(増額:150百万円) ・資材及び労務単価、消費税等の上昇(増額:199百万円)	
7	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=1,070m 掘削工 L=1,070m 護岸工 L=4,400m 附帯工事 道路橋2橋等 測量設計費、 用地補償費	5,280		1,760 (33%)	H31 (2019)	H50 (2038)	H29 (2017)			○		○			○			
	月寒川 (札幌市)	築堤工 L=1,070m 掘削工 L=1,070m 護岸工 L=4,400m 附帯工事 道路橋2橋等 測量設計費、 用地補償費	7,713	2,433 (46%)	2,571 (33%)	H31 (2019)	R20 (2038)	主な変更 理由・内容										・軟弱地盤対策に伴う地下水低下対策の設計費、施工費の増額(増額:1,660百万円) ・軟弱地盤対策に伴う護岸工種・基礎工の設計費、施工費の増額(増額:96百万円) ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:677百万円)	
8	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=43,600m 掘削工 L=21,800m 護岸工 L=43,600m	45,636		20,536 (45%)	S28 (1953)	H40 (2028)	H30 (2018)			○		○			○			
	新川 (札幌市)	築堤工 L=43,600m 掘削工 L=21,800m 護岸工 L=43,600m	47,117	1,481 (3%)	21,203 (45%)	S28 (1953)	R20 (2038)	主な変更 理由・内容										・樋門の耐震性能照査により、部分改築から全改築となったことによる設計費、 施工費の増額(増額:350百万円) ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:1,131百万円) ・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸(10年延伸)	

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
9	建設部	築堤工 L=8,510m 掘削工 L=22,900m 護岸工 L=36,013m 附帯工事 道路橋27橋等 測量設計費 用地補償費	32,010		10,670 (33%)	S42 (1967)	H45 (2033)	H30 (2018)	○		○						○		
	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金) 利根別川 (岩見沢市)	築堤工 L=8,510m 掘削工 L=17,840m 護岸工 L=24,543m 附帯工事 道路橋27橋等 遊水池N=0→2力所 測量設計費 用地補償費	36,117	4,107 (13%)	24,078 (33%)	S42 (1967)	R15 (2033)	主な変更 理由・内容											
10	建設部	築堤工 L=52,780m 掘削工 L=30,600m 護岸工 L=14,900m 附帯工事 道路橋N=15橋、JR橋1 橋等	36,305		16,337 (45%)	S31 (1956)	H50 (2038)	H30 (2018)		○		○	○				○		
	余市川 (仁木町、余市町、 赤井川村)	築堤工 L=52,780m 掘削工 L=30,600m 護岸工 L=14,900m 附帯工事 道路橋N=15橋、JR橋1 橋等	41,062	4,757 (13%)	18,478 (45%)	S31 (1956)	R30 (2048)	主な変更 理由・内容											
11	建設部	築堤工 L=14,250m 掘削工 L=8,600m 護岸工 L=8,985m 附帯工事 道路橋3橋等	11,281		5,076 (45%)	S52 (1977)	H40 (2028)	H30 (2018)			○		○				○		
	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金) 朱太川 (寿都町、黒松内 町)	築堤工 L=14,250m 掘削工 L=8,600m 護岸工 L=8,985m 附帯工事 道路橋3橋等	12,520	1,239 (11%)	5,634 (45%)	S52 (1977)	R10 (2028)	主な変更 理由・内容											

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外の 変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
12	建設部	掘削工 L=7,983m 護岸工 L=11,339m 遊水地 N=2カ所 附帯工事 道路橋24橋等 測量設計費 用地補償費	29,381	7,396 (25%)	13,221 (45%)	S58 (1983)	H47 (2035)	H30 (2018)  再			○	○	○			○			
	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金) 松倉川 (函館市)	掘削工 L=7,983m 護岸工 L=11,339m 遊水地 N=2カ所 附帯工事 道路橋24橋等 測量設計費 用地補償費																36,777	16,550 (45%)
13	建設部	築堤工 L=90,352m 掘削工 L=63,100m 護岸工 L=44,401m 附帯工事 道路橋38橋、JR橋10 橋等	107,033	15,784 (15%)	48,165 (45%)	S25 (1950)	H55 (2043)	H30 (2018)  再			○	○			○				
	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金) 安平川 (苫小牧市、安平 町)	築堤工 L=90,352m 掘削工 L=63,100m 護岸工 L=44,401m 附帯工事 道路橋38橋、JR橋10 橋等															122,817	55,268 (45%)	S25 (1950)
14	建設部	築堤工 L=109,500m 掘削工 L=65,800m 護岸工 L=150,276m 附帯工事 道路橋190橋、JR橋6 橋等	85,376	8,024 (9%)	28,459 (33%)	S28 (1953)	H41 (2029)	H30 (2018)  再			○	○	○			○			
	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金) 富良野川 (富良野市、上富良 野町、中富良野町)	築堤工 L=109,500m 掘削工 L=65,800m 護岸工 L=150,276m 附帯工事 道路橋190橋、JR橋6 橋等															93,400	31,133 (33%)	S28 (1953)

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
15	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=40, 150m 掘削工 L=41, 400m 護岸工 L=21, 635m 附帯工事 道路橋46橋、JR橋1橋 等	32, 764		10, 921 (33%)	S24 (1949)	H50 (2038)	H30 (2018) 再			○		○				○		
	牛朱別川 (旭川市、当麻町、 東川町)	築堤工 L=40, 150m 掘削工 L=41, 400m 護岸工 L=21, 635m 附帯工事 道路橋46橋、JR橋1橋 等	37, 428	4, 664 (14%)	12, 476 (33%)	S24 (1949)	R20 (2038)	主な変更 理由・内容										・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:1,186百万円) ・水路調査により排水・樋門工の基数増による設計費、施工費の増額(増額:201百万円) ・取水施設の構造が変更になったことによる設計費、施工費の増額(増額:1,960百万円) ・橋梁の基礎形式及び施工方法の変更による設計費、施工費の増額(増額:220百万円) ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:1,097百万円)	
16	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=3, 500m 掘削工 L=9, 400m 護岸工 L=3, 700m 遊水地 N=2箇所 附帯工事 取水工2基等	3, 500		1, 575 (45%)	H31 (2019)	H40 (2028)	H29 (2017) 事前			○		○				○		
	古丹別川 (苫前町)	築堤工 L=3, 500m 掘削工 L=9, 400m 護岸工 L=3, 700m 遊水地 N=2箇所 附帯工事 取水工2基等	6, 732	3, 232 (92%)	3, 029 (45%)	H30 (2018)	R1 (2019)	R14 (2032)	主な変更 理由・内容									・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:1,976百万円) ・遊水地内排水調査検討、結果に伴う各種施設設計及び施工計画等の増による増額(増額:754百万円) ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:502百万円) ・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸(4年延伸)	
17	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=38, 300m 掘削工 L=38, 210m 護岸工 L=19, 900m 附帯工事 道路橋14橋	25, 954		11, 679 (45%)	S26 (1951)	H44 (2032)	H30 (2018) 再			○		○				○		
	頓別川 (浜頓別町、中頓別 町)	築堤工 L=38, 300m 掘削工 L=38, 210m 護岸工 L=19, 900m 附帯工事 道路橋14橋	28, 694	2, 740 (11%)	12, 912 (45%)	S26 (1951)	R17 (2035)	主な変更 理由・内容										・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:1,520百万円) ・仮締切工法の変更に伴う設計費、施工費の増額(増額:420百万円) ・樋門基数の追加による設計費、施工費の増額(増額:200百万円) ・環境調査(鳥類)追加による増額(増額:100百万円) ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:500百万円) ・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸(3年延伸)	

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
18	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=27,500m 掘削工 L=17,200m 護岸工 L=20,990m 附帯工事 道路橋4橋、JR橋1橋 等	17,133		7,710 (45%)	H1 (1989)	H3 (1991)	H43 (2031)	H30 (2018) 再			○		○			○		
	斜里川 (斜里町)	築堤工 L=27,500m 掘削工 L=17,200m 護岸工 L=20,990m 附帯工事 道路橋4橋、JR橋1橋 等	19,174	2,041 (12%)	8,628 (45%)		H3 (1991)	R15 (2033)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:429百万円)</li> <li>・樋門の規模、構造が変更になったことによる増(増額:949百万円)</li> <li>・環境調査の追加による増(増額:225百万円)</li> <li>・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:438百万円)</li> <li>・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸(2年延伸)</li> </ul>									
19	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=30,460m 掘削工 L=39,900m 護岸工 L=41,209m 附帯工事 道路橋27橋、JR橋1橋 等	28,641		9,547 (33%)	S40 (1965)		H50 (2038)	H30 (2018) 再	○		○		○			○		
	無加川 (北見市)	築堤工 L=30,460m 掘削工 L=39,900m 護岸工 L=41,209m 附帯工事 道路橋29橋、JR橋1橋 等	37,345	8,704 (30%)	12,448 (33%)		S40 (1965)	R20 (2038)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河床低下対策に伴う床止め増、既設護岸の根入れ不足を考慮し護岸範囲の増及び覆礫の増による増額(増額:6,630百万円)</li> <li>・出水後の河道計画見直しによる橋梁の追加による増額(増額:742百万円)</li> <li>・掘削土に含まれる重金属の調査や処理費の増額(増額:100百万円)</li> <li>・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:1,232百万円)</li> </ul>									
20	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=62,560m 掘削工 L=110,561m 護岸工 L=13,333m 附帯工事 道路橋8橋等	37,404		12,343 (33%)	H2 (1990)		H57 (2045)	H30 (2018) 再			○		○			○		
	利別川 (本別町、足寄町、 陸別町)	築堤工 L=62,560m 掘削工 L=110,561m 護岸工 L=13,333m 附帯工事 道路橋8橋等	40,414	3,010 (8%)	13,471 (33%)		H2 (1990)	R27 (2045)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:801百万円)</li> <li>・樋門の耐震性能照査により、部分改築から全改築となったことによる設計費、工事費の増額(増額:377百万円)</li> <li>・土捨場調査実施による調査費の増額(増額:52百万円)</li> <li>・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:1,780百万円)</li> </ul>									
21	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=87,534m 掘削工 L=42,200m 護岸工 L=81,536m 附帯工事 道路橋31橋等	25,141		8,297 (33%)	S28 (1953)		H48 (2036)	H30 (2018) 再			○					○		
	帯広川 (帯広市、芽室町)	築堤工 L=87,534m 掘削工 L=42,200m 護岸工 L=81,536m 附帯工事 道路橋31橋等	26,388	1,247 (5%)	8,796 (33%)		S28 (1953)	R18 (2036)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築堤工に堤防天端舗装を追加したことによる設計費、施工費の増額(増額:205百万円)</li> <li>・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額(増額:305百万円)</li> <li>・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額(増額:737百万円)</li> </ul>									



NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外 の変更	調査・ 設計 の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計 等の 基準 改定	自然増		その他
22	建設部 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合 交付金)	築堤工 L=13,855m 掘削工 L=13,480m 護岸工 L=17,166m 附帯工事 道路橋2橋、JR橋5	39,905		13,302 (33%)	H7 (1995)	R26 (2044)	R1 (2019)										○	
	釧路川 (釧路市、釧路町)	築堤工 L=13,855m 掘削工 L=13,480m 護岸工 L=17,166m 附帯工事 道路橋2橋、JR橋5	42,593	2,688 (7%)	14,198 (33%)	H7 (1995)	R26 (2044)	主な変更 理由・内容	・資材及び労務単価、消費税等の上昇(増額:2,688百万円)										
23	建設部 通常砂防事業費 (社会資本整備総合 交付金)	遊砂地工 N=2基 砂防堰堤工 N=3基 流木捕捉工 N=2基 山腹工 N=1箇所	1,930		965 (50%)	H28 (2016)	H38 (2026)	— —	○	○								○	
	厚内川 (浦幌町)	遊砂地工 N=2基 砂防堰堤工 N=3基 流木捕捉工 N=2基 山腹工 N=1箇所	4,200	2,270 (118%)	2,100 (50%)	H28 (2016)	R12 (2030)	主な変更 理由・内容	・不安定土層の層厚など、山腹工の施工量が増えたことによる増額(増額:1,650百万円) ・地形調査の結果による施設規模変更に伴う増額(増額:462百万円) ・資材及び労務単価、消費税率の上昇(増額:158百万円) ・山腹工施工量増に伴う事業期間の延伸(4年延伸)										
24	建設部 通常砂防事業費 (大規模特定砂防等 事業費補助)	砂防堰堤工 N=2基 砂防堰堤改良工 N=1基 流木捕捉工 N=1基	1,450		725 (50%)	H28 (2016)	H37 (2025)	H30 (2018)					○	○				○	○
	珊内川 (神恵内村)	砂防堰堤工 N=2基 砂防堰堤改良工 N=1基 流木捕捉工 N=1基	2,570	1,120 (77%)	1,285 (50%)	H28 (2016)	R14 (2032)	主な変更 理由・内容	・関係機関協議により施工期間が冬季に限定されたことに伴う仮設工の増額、測量設計費の増額、及び事業期間の延伸(増額661百万円、7年延伸) ・鋼製砂防構造物設計便覧改訂による工事費の増額、及び測量設計費の増額(増額:80百万円) ・地形調査の結果による工事用兼管理用道路規模変更に伴う工事費の増額、及び測量設計費の増額(増額:245百万円) ・資材及び労務単価、消費税率の上昇(増額:134百万円)										
25	建設部 急傾斜地崩壊対策事 業費(社会資本整備 総合交付金)	土留柵工 L=300m 落石防護柵工 L=300m	900		495 (55%)	H31 (2019)	H38 (2026)	— —	○	○	○	○	○					○	
	札幌西野9 (札幌市)	土留柵工 L=300m 落石防護柵工 L=54m	3,920	3,020 (336%)	2,156 (55%)	H30 (2018)	R6 (2024)	R14 (2032)	主な変更 理由・内容	・地質調査の結果、土留柵工の杭規格を変更したことや対策工が追加となったことなどによる増額。(増額:2,487百万円) ・対策工の追加などに伴う測量設計費の増額(増額:400百万円) ・資材及び労務単価、消費税率の上昇(増額:133百万円) ・地元との調整に時間を要したことによる事業期間の延伸(6年延伸)									

NO	所管部 事業種別 地区名 (市町村名)	事業内容	事業費(百万円)		うち道費 負担額	事業経過			前回 評価 年度 ・区分	事業費増額要因								備考	
			総事業費	増額		事業 採択	着手	完了 予定		事業量 変更	施設 規模 変更	整備 手法 変更	主要 工事 以外の 変更	調査・ 設計の 追加・ 変更	用地費 ・ 補償費	積算・ 設計等 の基準 改定	自然増		その他
26	建設部  都市計画街路事業費 (社会資本整備総合 交付金)  3・3・20永山東光線 (旭川市)	道路工 L=1.04km 幅員 W=30.0m(一般部)、 42.3m(立体交差部) 跨線橋(踏切除却) L=32m 道路工(改良、舗装、函渠、擁 壁)	8,120		3,248 (40%)	H27 (2015)	H35 (2023)	H30 (2018)  再				○	○	○		○			
		道路工 L=1.04km 幅員 W=30.0m(一般部)、 42.3m(立体交差部) 跨線橋(踏切除却) L=32m 道路工(改良、舗装、函渠、擁 壁)	10,800	2,680 (33%)	4,320 (40%)	H27 (2015)	R11 (2029)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土材採取場所の変更に伴う増額(増額:300百万円)</li> <li>・土壌汚染対策に係る調査設計費及び対策工の増(増額:190百万円)</li> <li>・騒音振動調査の調査範囲及び調査期間延伸による増(増額:75百万円)</li> <li>・地下水調査の調査対象者の増及び調査期間延伸による増(増額:150百万円)</li> <li>・JR近接施工による安全対策工及び作業時間の制約による増(増額:190百万円)</li> <li>・公共補償費の増(増額:1271百万円)</li> <li>・資材及び労務単価の上昇(増額:504百万円)</li> <li>・残事業の施工期間を精査したことによる完了予定年度の延伸(6年延伸)</li> </ul>										
27	建設部  都市計画街路事業 (社会資本整備総合 交付金)  3・4・111基線通 (恵庭市)	道路工 L=0.59km 幅員 W=20.0m(一般部)、 36.3m(立体交差部) 橋梁N=1橋(L=62m) 擁壁N=4 (L=100m, L=114m, L=96m, L=130m)	3,852		1,541 (40%)	H27 (2015)	R7 (2025)	R2 (2020)  再	○				○	○		○			
		道路工 L=0.59km 幅員 W=20.0m(一般部)、 36.3m(立体交差部) 橋梁N=1橋(L=62m) 擁壁N=4 (L=100m, L=114m, L=96m, L=130m)	4,952	1,100 (29%)	1,981 (40%)	H27 (2015)	R7 (2025)	主な変更 理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR近接施工による安全対策工、電気設備移設費用等の増(増額:910百万円)</li> <li>・資材及び労務単価の上昇(増額:190百万円)</li> </ul>										